

都市計画道路田辺旭ヶ丘線事業
の再評価について
(意見具申)

令和5年2月17日

柏原市都市計画道路田辺旭ヶ丘線
再評価委員会

令和5年2月17日

柏原市長 富宅 正浩 様

都市計画道路田辺旭ヶ丘線再評価委員会

委員長 田中 晃代

都市計画道路田辺旭ヶ丘線事業の再評価について（意見具申）

標記の件について審議を行った結果、下記とおり意見具申する。

記

都市計画道路田辺旭ヶ丘線は、東西を連携する新たな交通ネットワークの充実、慢性的渋滞の緩和など近鉄河内国分駅周辺における交通の円滑化、災害発生時における輸送などの多重化、バリアフリー化などの歩行空間における安全・安心の確保に寄与すること、さらに費用便益比は2.01である。事業の進捗状況の視点からも、既投資額が全体事業費の約55%であり、用地取得率が柏原市土地開発公社保有分を含め100%に達しており、本格的工事の実施に向け、令和4年度より設計の見直しを実施していることから、対応方針（原案）どおり、「事業継続」とすることと判断した。

事業継続にあたっては、可能な限り工事費のコスト縮減に努め、早期に投資効果を発現させるためにも、一日も早い整備完成に向け、事業推進を図られたい。併せて環境への配慮、住民参画による環境活動も望まれる。さらに、昨今、自転車と歩行者の接触事故発生が増加していることから、歩行者・自転車の交通安全に配慮した道路空間の創出、災害・救急救命活動などの緊急時における交通ネットワークの役割を担う道路整備となるよう努められ、加えて、関係機関との連携を図ることにより、一層の「安全・安心」や「災害・緊急対応」の事業効果を期待する。

また、今後の取り組みにおいて、地域の住民へ丁寧な対応を行い、アドプトロードなど地域住民参画の仕組みづくりに向け、十分な配慮を行うよう留意されたい。

以上

委員長

田中 晃代

委員

榊原 宗男

委員

福田 晴仁

委員

尾崎 幸雄

委員

渡部 壽弘